



平成23年11月28日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成24年3月期 第1、第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成23年8月12日及び平成23年11月14日に公表いたしました「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について、一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、「四半期報告書の訂正報告書」は、本日、関東財務局に提出いたしました。

## 記

### 1. 主な訂正理由

当社は、当社は、平成23年5月30日に担保権の実行により、当初より当社が保有しておりました株式と合算すると、株式会社ウェッジホールディングス（以下、「ウェッジ社」といいます。）の株式を50.5%を保有することとなりましたので、ウェッジ社は当社の連結子会社となりました。（詳細につきましては、平成23年5月31日付「株式会社ウェッジホールディングスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご確認ください。）

ウェッジ社を連結子会社化したことに伴い、負ののれん発生益及び潜在株式調整後1株あたり四半期純利益等それらの影響額について再度算定を行った結果、その計算に誤りが発見されましたので訂正いたします。

また、同時に株式会社ウェッジホールディングスが当社の特定子会社となったことに伴い、同社の連結子会社であるENGINE HOLDINGS ASIA PTE. LTD.、Group Lease PCL、ENGINE PROPERTY MANAGEMENT ASIA PTE. LTD. についても特定子会社に該当することが判明したため訂正いたします。

### 2. 正誤表

訂正箇所は\_を付して表示しております。

### 訂正箇所一覧

#### (平成24年3月期第1四半期決算短信)

- ① 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (1) 連結経営成績 (2) 連結財政状態
- ② 4. その他 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
- ③ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 連結経営成績に関する定性的情報  
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 (純資産)
- ④ 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

⑤4. 連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結包括利益計算書)

(4) セグメント情報等

II 当第1四半期連結累計期間

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (重要な負ののれん発生益)

(6) 企業結合等関係

4. 負ののれん発生益の金額及び発生原因 ①発生した負ののれん金額

なお、訂正箇所には下線を付してあります。

**(平成24年3月期第2四半期決算短信)**

①1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (1) 連結経営成績 (2) 連結財政状態

②4. その他 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

③1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(2) 連結財政状態に関する定性的情報 (純資産)

④3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

⑤4. 連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結包括利益計算書)

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(5) セグメント情報等

II 当第2四半期連結累計期間

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (重要な負ののれん発生益)

なお、訂正箇所には下線を付してあります。

(平成24年3月期第1四半期決算短信)

【訂正前】

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	832	△5.2	△98	—	1,566	—	2,977	—
23年3月期第1四半期	878	2.3	△112	—	△399	—	△399	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,990百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △377百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	64	01	—	—
23年3月期第1四半期	△8	58	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,777	—	9,256	—	39.5	—
23年3月期	5,624	—	3,293	—	57.7	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,235百万円 23年3月期 3,246百万円

2. ～3. 〈省略〉

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社 (株式会社ウェッジホールディングス)、除外一社

【訂正後】

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	832	△5.2	△98	—	1,566	—	2,232	—
23年3月期第1四半期	878	2.3	△112	—	△399	—	△399	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,245百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △377百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	48	00	—	—
23年3月期第1四半期	△8	58	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,777	34.8	9,256	34.8	—	—
23年3月期	5,624	57.7	3,293	57.7	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,490百万円 23年3月期 3,246百万円

2. ～3. 〈省略〉

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規3社(株式会社ウェッジホールディングス、ENGINE HOLDINGS ASIA PTE. LTD.、  
Group Lease PCL)、除外一社

(2ページ)

【訂正前】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復基調にあるものの、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響により景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような厳しい経済状況のもと、当社グループを取り巻く周辺環境も一段と厳しさを増しておりますが、当第1四半期連結累計期間に株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、持株比率を50.55%としたことで連結対象子会社としております。これにより、当社グループのテニス事業をはじめとしたスポーツ用品事業における分野での連携や、管理部門の効率化等の相乗効果が期待されます。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比5.2%減の832,322千円となりました。損益面におきましては、生産効率の改善、製品在庫水準の適正化を継続的に取り組み、損益分岐点の低下を図っておりますが、営業損失は98,405千円（前年同四半期は営業損失112,405千円）となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。当第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,566,272千円（前年同四半期は経常損失399,123千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,977,913千円（前年同四半期は四半期純損失399,084千円）となりました。

〈省略〉

【訂正後】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復基調にあるものの、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響により景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような厳しい経済状況のもと、当社グループを取り巻く周辺環境も一段と厳しさを増しておりますが、当第1四半期連結累計期間に株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、持株比率を50.55%としたことで連結対象子会社としております。これにより、当社グループのテニス事業をはじめとしたスポーツ用品事業における分野での連携や、管理部門の効率化等の相乗効果が期待されます。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比5.2%減の832,322千円となりました。損益面におきましては、生産効率の改善、製品在庫水準の適正化を継続的に取り組み、損益分岐点の低下を図っておりますが、営業損失は98,405千円（前年同四半期は営業損失112,405千円）となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。当第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,566,272千円（前年同四半期は経常損失399,123千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,232,703千円（前年同四半期は四半期純損失399,084千円）となりました。

〈省略〉

(3ページ)

**【訂正前】**

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,256,408千円（前連結会計年度末比5,963,045千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,977,913千円増）であります。

〈省略〉

**【訂正後】**

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,256,408千円（前連結会計年度末比5,963,045千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,232,703千円増）であります。

〈省略〉

(5ページ)

**【訂正前】**

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても2,977,913千円の四半期純利益を計上したものの、98,405千円の営業損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

〈省略〉

**【訂正後】**

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても2,232,703千円の四半期純利益を計上したものの、98,405千円の営業損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

〈省略〉

(7ページ)

【訂正前】

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	2,331,018	6,521,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	△2,968,645	9,267
自己株式	△23,160	△23,166
株主資本合計	2,045,763	5,023,670
その他の包括利益累計額		
〈省略〉		
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,212,058
新株予約権	9,690	41,001
少数株主持分	37,364	2,979,678
純資産合計	3,293,363	9,256,408
負債純資産合計	5,624,382	15,777,730

【訂正後】

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	2,331,018	6,521,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	△2,968,645	△735,942
自己株式	△23,160	△23,166
株主資本合計	2,045,763	4,278,460
その他の包括利益累計額		
〈省略〉		
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,212,058
新株予約権	9,690	41,001
少数株主持分	37,364	3,724,888
純資産合計	3,293,363	9,256,408
負債純資産合計	5,624,382	15,777,730

(8ページ)

【訂正前】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	878,369	832,322
売上原価	701,334	648,509
売上総利益	177,034	183,812
販売費及び一般管理費	289,440	282,218
営業損失(△)	△112,405	△98,405
営業外収益		
〈省略〉		
営業外収益合計	62,192	1,672,702
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	348,910	8,024
経常利益又は経常損失(△)	△399,123	1,566,272
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,435,985
特別利益合計	—	1,435,985
特別損失		
〈省略〉		
特別損失合計	—	0
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	△399,123	3,002,258
法人税、住民税及び事業税	684	25,010
法人税等合計	684	25,010
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損 益調整前当期純損失(△)	△399,807	2,977,248
少数株主損失(△)	△723	△664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△399,084	2,977,913

## 【訂正後】

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	878,369	832,322
売上原価	701,334	648,509
売上総利益	177,034	183,812
販売費及び一般管理費	289,440	282,218
営業損失(△)	△112,405	△98,405
営業外収益		
〈省略〉		
営業外収益合計	62,192	1,672,702
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	348,910	8,024
経常利益又は経常損失(△)	△399,123	1,566,272
特別利益		
負ののれん発生益	—	690,775
特別利益合計	—	690,775
特別損失		
〈省略〉		
特別損失合計	—	0
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△399,123	2,257,048
法人税、住民税及び事業税	684	25,010
法人税等合計	684	25,010
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	△399,807	2,232,038
少数株主損失(△)	△723	△664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△399,084	2,232,703

(9ページ)

【訂正前】

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△399,807	<u>2,977,248</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△705	△477
為替換算調整勘定	22,767	13,535
その他の包括利益合計	22,061	13,058
四半期包括利益	△377,746	<u>2,990,306</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△379,299	<u>2,989,425</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1,553	881

【訂正後】

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△399,807	<u>2,232,038</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△705	△477
為替換算調整勘定	22,767	13,535
その他の包括利益合計	22,061	13,058
四半期包括利益	△377,746	<u>2,245,097</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△379,299	<u>2,244,215</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1,553	881

(11ページ)

【訂正前】

(4) セグメント情報等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが1,435,985千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分していません。

【訂正後】

(4) セグメント情報等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが690,775千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分していません。

(13ページ)

【訂正前】

(6) 企業結合等関係

4. 負ののれん発生益の金額及び発生原因

① 発生した負ののれんの金額

1,435,985千円

〈省略〉

【訂正後】

(6) 企業結合等関係

4. 負ののれん発生益の金額及び発生原因

① 発生した負ののれんの金額

690,775千円

〈省略〉

(平成24年3月期第2四半期決算短信)

【訂正前】

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,676	61.5	95	—	1,726	—	2,995	—
23年3月期第2四半期	1,656	△2.7	△227	—	△593	—	△596	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,851百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △594百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	64	39	—	—
23年3月期第2四半期	△12	83	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,971	—	9,264	—	41.3	—
23年3月期	5,624	—	3,293	—	57.7	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,183百万円 23年3月期 3,246百万円

2. ～3. 〈省略〉

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(株式会社ウェッジホールディングス)、除外一社

## 【訂正後】

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,676	61.5	95	—	1,726	—	2,250	—
23年3月期第2四半期	1,656	△2.7	△227	—	△593	—	△596	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,106百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △594百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	48	37	48	29
23年3月期第2四半期	△12	83	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第2四半期	14,971		9,264		36.3	
23年3月期	5,624		3,293		57.7	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,438百万円 23年3月期 3,246百万円

## 2. ～3. 〈省略〉

## 4. その他

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規4社(株式会社ウェッジホールディングス、ENGINE HOLDINGS ASIA PTE. LTD.、  
Group Lease PCL、ENGINE PROPERTY MANAGEMENT ASIA PTE. LTD.)、除外一社

(2ページ)

【訂正前】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復基調にあるものの、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響により景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。また、我が国の経済金融政策の影響により、史上最高水準の円高が続き、このために輸出等の足を引っ張る状況にあり、リーマンショック以来の停滞から脱する方向性が見えない状況にあります。

〈省略〉

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比61.5%増の2,676,453千円となりました。損益面におきましては、営業利益は95,493千円（前年同四半期は営業損失227,197千円）となり、新たな連結子会社群が大きく利益を伸長させる結果となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,726,004千円（前年同四半期は経常損失593,234千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,995,227千円（前年同四半期は四半期純損失596,884千円）となりました。

〈省略〉

【訂正後】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復基調にあるものの、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響により景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。また、我が国の経済金融政策の影響により、史上最高水準の円高が続き、このために輸出等の足を引っ張る状況にあり、リーマンショック以来の停滞から脱する方向性が見えない状況にあります。

〈省略〉

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比61.5%増の2,676,453千円となりました。損益面におきましては、営業利益は95,493千円（前年同四半期は営業損失227,197千円）となり、新たな連結子会社群が大きく利益を伸長させる結果となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,726,004千円（前年同四半期は経常損失593,234千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,250,017千円（前年同四半期は四半期純損失596,884千円）となりました。

〈省略〉

(4ページ)

【訂正前】

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,264,863千円（前連結会計年度末比5,971,499千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,995,227千円増）であります。

〈省略〉

【訂正後】

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,264,863千円（前連結会計年度末比5,971,499千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,250,017千円増）であります。

〈省略〉

(7ページ)

【訂正前】

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは当第2四半期連結累計期間において95,493千円の営業利益、2,995,227千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

〈省略〉

【訂正後】

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは当第2四半期連結累計期間において95,493千円の営業利益、2,250,017千円の四半期純利益を計上したものの、前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

〈省略〉

(9ページ)

【訂正前】

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	2,331,018	5,706,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	△2,968,645	<u>26,581</u>
自己株式	△23,160	<u>△23,197</u>
株主資本合計	2,045,763	<u>5,040,952</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△661	△1,405
土地再評価差額金	1,194,296	1,194,296
為替換算調整勘定	6,910	△50,434
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,142,456
新株予約権	9,690	39,423
少数株主持分	37,364	<u>3,042,029</u>
純資産合計	3,293,363	9,264,863
負債純資産合計	5,624,382	14,971,189

【訂正後】

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	2,331,018	5,706,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	△2,968,645	<u>△718,628</u>
自己株式	△23,160	△23,197
株主資本合計	2,045,763	<u>4,295,743</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△661	△1,405
土地再評価差額金	1,194,296	1,194,296
為替換算調整勘定	6,910	△50,434
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,142,456
新株予約権	9,690	39,423
少数株主持分	37,364	<u>3,787,239</u>
純資産合計	3,293,363	9,264,863
負債純資産合計	5,624,382	14,971,189

(10ページ)

【訂正前】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,656,910	2,676,453
売上原価	1,290,740	1,722,839
売上総利益	366,170	953,613
販売費及び一般管理費	593,368	858,120
営業利益又は営業損失(△)	△227,197	95,493
営業外収益		
<省略>		
営業外収益合計	70,327	1,717,670
営業外費用		
<省略>		
営業外費用合計	436,364	87,158
経常利益又は経常損失(△)	△593,234	1,726,004
特別利益		
固定資産売却益	—	794
持分変動利益	—	2,651
負ののれん発生益	—	1,435,985
特別利益合計	—	1,439,431
特別損失		
<省略>		
特別損失合計	1,117	29,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△594,352	3,136,067
法人税、住民税及び事業税	3,457	107,484
法人税等調整額	—	△37,714
法人税等合計	3,457	69,769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△597,809	3,066,298
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△925	71,071
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△596,884	2,995,227

## 【訂正後】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,656,910	2,676,453
売上原価	1,290,740	1,722,839
売上総利益	366,170	953,613
販売費及び一般管理費	593,368	858,120
営業利益又は営業損失(△)	△227,197	95,493
営業外収益		
〈省略〉		
営業外収益合計	70,327	1,717,670
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	436,364	87,158
経常利益又は経常損失(△)	△593,234	1,726,004
特別利益		
固定資産売却益	—	794
持分変動利益	—	2,651
負ののれん発生益	—	690,775
特別利益合計	—	694,221
特別損失		
〈省略〉		
特別損失合計	1,117	29,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△594,352	2,390,858
法人税、住民税及び事業税	3,457	107,484
法人税等調整額	—	△37,714
法人税等合計	3,457	69,769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△597,809	2,321,088
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△925	71,071
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△596,884	2,250,017

(11ページ)

【訂正前】

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整 前四半期純損失(△)	△597,809	3,066,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	△744
為替換算調整勘定	3,706	△213,938
その他の包括利益合計	3,433	△214,683
四半期包括利益	△594,375	2,851,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△593,821	2,937,138
少数株主に係る四半期包括利益	△554	△85,522

【訂正前】

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整 前四半期純損失(△)	△597,809	2,321,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	△744
為替換算調整勘定	3,706	△213,938
その他の包括利益合計	3,433	△214,683
四半期包括利益	△594,375	2,106,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△593,821	2,191,928
少数株主に係る四半期包括利益	△554	△85,522

(12ページ)

【訂正前】

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	△594,352	3,136,067
減価償却費	24,177	16,353
負ののれん発生益	—	△1,435,985
のれん償却額	—	3,214
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,715	△1,624,495
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△48,267	35,252
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△29,696
受取利息及び受取配当金	△61,020	△13,805
支払利息	3,492	3,680
為替差損益 (△は益)	—	34,987
持分法による投資損益 (△は益)	1,945	18,115
有価証券評価損益 (△は益)	410,983	△19,721
有価証券売却損益 (△は益)	724	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△794
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1,118	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△104,691	△103,139
営業貸付金の増減額 (△は増加)	—	252,122
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64	23,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,682	95,706
その他	△21,686	168,967
小計	△366,244	560,097
利息及び配当金の受取額	46,859	22,262
利息の支払額	△3,145	△3,589
法人税等の支払額	△14,696	△209,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	△337,226	368,996
〈省略〉		

## 【訂正後】

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	△594,352	2,390,858
減価償却費	24,177	16,353
負ののれん発生益	—	△690,775
のれん償却額	—	3,214
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,715	△1,624,495
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△48,267	35,252
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△29,696
受取利息及び受取配当金	△61,020	△13,805
支払利息	3,492	3,680
為替差損益 (△は益)	—	34,987
持分法による投資損益 (△は益)	1,945	18,115
有価証券評価損益 (△は益)	410,983	△19,721
有価証券売却損益 (△は益)	724	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△794
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1,118	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△104,691	△103,139
営業貸付金の増減額 (△は増加)	—	252,122
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64	23,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,682	95,706
その他	△21,686	168,967
小計	△366,244	560,097
利息及び配当金の受取額	46,859	22,262
利息の支払額	△3,145	△3,589
法人税等の支払額	△14,696	△209,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	△337,226	368,996
〈省略〉		

(16ページ)

【訂正前】

(5) セグメント情報等

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが1,435,985千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分しておりません。

【訂正後】

(5) セグメント情報等

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが690,775千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分しておりません。